

保護者の皆様に行わせていただいたアンケートでは「各学年でやるべきことは何か」について関心があるようですので、本日はそのことについて触れさせていただきます。

3年生：「素直に学べない人は、受からない」

大学共通テスト志願票の校内提出、指定校推薦校内選考を終え、**一般受験生は覚悟を固め**、いよいよ本番モードになってきたことでしょう。受験勉強もこれからが正念場、一生懸命に努力をしている人ほど緊張が高まり、「時間が足りない」と感じ始めているはず。そんな境地に到達していないというお子様には、次の言葉に「ハッとする」かもしれません。言葉の主は、吉野敬介氏。元代々木ゼミナールの名物古文講師で、参考書等の著作も多いので、知っている方もいらっしゃるかも知れません。言葉づかいは少々乱暴（不快な思いをさせて申し訳ないですが）ですが、氏自身の壮絶な努力（20歳の9月に大学受験を決意。約4か月間の受験勉強で国語の偏差値を25から86に上げ、國學院大學に合格～自身のプロフィールより～）の裏付けがあるせいか、独特の説得力があり、ある部分共感できることがあります。著書の中に記された経歴や過去のエピソードに整合性がないと指摘されることもありますが、参考になる言葉です。（以下は、吉野敬介『やっぱりおまえはバカじゃない』より原文のまま抜粋、受験生に本気で頑張れというメッセージが詰まった本です。是非一度お読みください。納得できる内容であれば、まだやる気が起きていないお子様に読むことを勧めてください。）

●自分だけの小さな基準で満足しているバカ

偏差値30とか40とかいうヤツが来たって、オレはぜんぜん驚かない。「だったら、この単語を覚えて、こういうふうに勉強してみろ。絶対に30は偏差値が上がるから」と教えれば、実際60や65ぐらいになる。ところが、そういうふうに勉強のやり方を教えても、「それは全部やっています」という受験生がいる。そういうヤツ（素直に聞く耳を持たないばかりに、茶道等という「守・破・離」の「守」の段階で、師の教えを守れず、基本となる型が全く身につけていない者。もちろん、「破」「離」の段階へは進めない。「努力しているのに偏差値が上がらない」という生徒のほとんどはこのパターンである）こそバカなのだ。ほんとうはぜんぜんやっていない。自分ひとりで、やっていると思いこんでいるだけなんだ。

●「要領」だけで世渡りのうまさを吹聴するバカ

一生懸命やらないで大学に入ったことを自慢するヤツはバカだ。こんなバカにだけはなあってほしくない。そんなのみっともないじゃないか。…（略）…ほんとうのバカというのは、すべてを要領よくこなして、何一つ本物に行きつけないヤツのことをいうと思う。

●なにもしない前から「できない」というバカ

毎日受験生に接していると、そろいもそろって、みんな弱音を吐きにくる。「できない」「どうせ、頭が悪いから」「やってもダメだ」。オレからしてみれば、こういう悩みはぜいたくだ。できないうちには、はいらない。オレは、こういう受験生が来ると、決まって「おまえは、バカじゃないんだ」と言ってやる。この世の中で、受験勉強ほど公平で単純なものはないと思う。勉強をやった者は受かり、やらなかった者は落ちる。ただそれだけのことだ。頭がいいとか悪いとか、そんなことは関係ない。バカだから落ちるんじゃなくて、やってないから落ちるんだ。

1・2年生：「優れた生活&学習リズム」が伸びる秘訣

修学旅行後は、「受験生0学期」と称して、どの学校でも受験を意識させようとしています。しかし現実には「二極化」です。「英数国の基礎（英単語・古文単語、数学の典型問題の演習etc.）は2年次のうちに完成させよう！」「文系の地歴公民、理系の理科、1科目は受験を意識して勉強を始めよう」といったアドバイスに素直に耳を傾けて、コツコツと努力を重ねている人は、模試でも順調に成果を出していきます。逆に、「面倒だ」「負担が多い」と文句を並べるだけの人は、自分ではリズムを作りだすことができず、結局、予備校や通信教材、補習等に依存（「活用」ではありません）することになり、伸びていけないという状況を何度となく見てきました。「伸び悩んでいる」のではないかと思われる場合は、まずは自分自身を変える努力から始めることが必要です。その日の「気分」で勉強をやったりやらなかったりするムラっ気がある人は、間違いなく失敗への道をつっ走っているといえます。以下の項目をチェックしてください。

- 毎週進路関係の情報をチェックしている
- 毎日教室の掲示を見て予定等を確認している
- 週番や担任の連絡を聞き漏らすことはない
- 朝早めに登校している（遅刻・欠席はご法度！）
- 放課後はすぐ学習や部活動に取り掛かる、または帰るなど切り替えが早い（無駄な団欒の時間が少ない）
- 本番までの学習目標と計画が頭にある（または書いてある）
- 掃除の時間は無駄にしゃべらずさっさと済ませてしまう
- 主要教科（文系：英国地公、理系：英数理）を毎日バランスよく勉強している
- 始業のチャイム前には教科書・ノートが準備してある